

第13回認知症フォーラム実施結果について

日時：令和2年11月14日(土)

場所：練馬区役所多目的会議室(アトリウム地下)

参加者：90名(一般55名、スタッフ等35名)

内容・『認知症と人生会議～より良い人生をまっとうするには』
東京都健康長寿医療センター精神科部長 古田 光氏

・『看取り事例報告』

ミニケアホーム管理者 志寒 浩二氏

・社会資源に関する情報展示と専門家による介護に関する個別相談



参加者のアンケート(抜粋)

・【講演 認知症と人生会議～よりよい人生をまっとうするには】
よかった 80.0%、ややよかった 6.7%、普通 11.7%、回答無 1.7%

・【看取り事例報告】
よかった 73.3%、ややよかった 13.3%、普通 8.3%、回答無 5.0%

・【社会資源に関する情報展示と専門家による介護に関する個別相談】
よかった 43.3%、ややよかった 10.0%、普通 11.7%、回答無 35.0%

参加者のアンケート(抜粋)

- ・ご本人の決定にご本人が参加することが大切ということに共感を得た。
- ・ACPの具体的な例をあげて説明がありわかりやすかった。
- ・意思決定やそのために本人・家族で話し合っておくことは必要なことだと思います。変更もその時によってOKであることを伝えていきたいと思います。
- ・人生会議の意味が理解できました。それについて色々なケースがあり多様だと思いますが、自分なりに考え方向性を持つと思いました。
- ・グループホームのこと、具体的な看取りの事例はとても分かりやすかったです。
- ・自分らしい生き方が、イコール自分らしい死に方であることを学んだ。
- ・アドバンスケアプランニングはプロセスが大切で「やっぱりやめた。」も有りと言明されると気軽に話し合えそうな気がしました。
- ・グループホームについて良く知ることが出来ました。看取りについて居場所の大切さを学びました。